



## 伝え方 ～自分も相手も大切に～

皆さんは、誰かの言い方にイラっとした経験や、自分が発した言葉に「今の言い方はよくなかったな」と後から思った経験はありませんか。

私の家族に、言い方にとっても敏感な、いわば「言い方警察」がいます。先日、家族で食事に出かけた際、会計の場面で店員さんから「クレジットカードをここにやってもらえますか。」(語尾を下げ、やや早口)と声をかけられました。敬語ではあるものの、少しきつく感じる言い方でした。店を出た後、家族は「あの言い方、センスないわ～」と、少し不快に感じた様子でした。

どんな言い方がよかったのかを聞いてみると、「伝えている内容は同じでも、表情や話す速さやもう少し穏やかだったら、印象はずいぶん違ったと思う」とのことでした。ムっとした態度ではなく、ゆっくり丁寧に伝えるだけでも、受け取る側の感じ方は変わるのではないでしょうか。

このように、内容が同じでも「伝え方」が違うだけで、相手の受け取り方や気持ちは大きく変わります。日常生活でも同じです。「それ取って」「早くして」と言われたとき、どんな気持ちになりますか。一方で、「ごめんね、それ取ってもらえる?」「急いでいるんだけど、お願いできるかな」と言われたら、少し感じ方が変わるのではないのでしょうか。

言い方を工夫することは、相手を思いやる「相手のため」だけでなく、自分自身が嫌な思いをしないための「自分のため」でもあります。伝えたいことがあるときこそ、どんな言い方ならお互いに気持ちよく過ごせるのか、少し立ち止まって考えてみてほしいと思います。そうした積み重ねが、よりよい人間関係につながっていくのではないのでしょうか。

ちなみに私は、今でも日々「言い方警察」に取り締まられています。いつか取り締まられなくなる日を目指して、私自身も言葉の伝え方を大切にしていきたいと思います。

以上、小学部吉野でした!